

Title	経済学会報告 (昭和卅五年度)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.6 (1961. 6) ,p.516(80)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610601-0080

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

経済学会報告(昭和卅五年度)

昭和卅五年
五月十二日 履歴効果の測定と最低生活水準 中鉢正美
五月十九日 フランスの分益小作制について 渡辺國廣
六月二日 わが国における需要予測の現状 佐藤 保
六月九日 人民公社形成過程における農産物
価格決定機構と差額の収益の性格 平野絢子
六月十六日 一四世紀後半リユーベック市会の
構成 高村象平
六月廿三日 後進国経済の人口・経済発展潜在
力 安川正彬
六月卅日 コール教授、人とその業績 飯田 鼎
九月十五日 いわゆる「転形問題」について 持丸悦朗
九月廿二日 ビルマの経済開発と貿易 矢内原 勝
九月廿九日 ソ連の分権制度 加藤 寛

十月六日 経済計画と福祉計画 大熊一郎
十月十三日 理論と歴史の関連 富田重夫
十月廿日 労働供給の構造について 尾崎 滋
十月廿七日 ビルマの開発金融の問題点
——後進国における
金融問題の一ケース—— 田村 茂
十一月十日 近代自然法思想の展開について 野地洋行
十二月一日 所得倍増計画における最低生活費
の算定 中鉢正美
十二月八日 経済理論の最近の動向について 福岡正夫
十二月十五日 「豊かな社会」の経済問題 千種義人
昭和卅六年
一月十二日 「国民の職分」にかんする若干の
考察 —— 思想史の問題点 —— 田中 明
一月十九日 資本主義における土地所有の一般
的性質 小池基之
一月廿六日 わが国工業の構造的特質といわゆる
企業規模別賃金格差 井村喜代子